

10月～11月パート

Java基礎編
(IntelliJ IDEA)

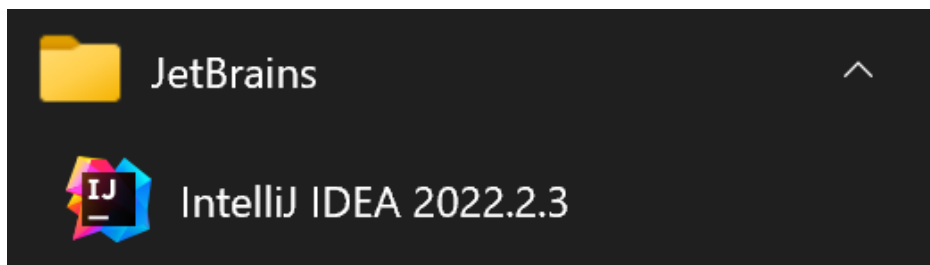


IntelliJ IDEAでのプログラミング

IntelliJ IDEAのインストール方法は別の資料で学んだと思うが、IntelliJでのプログラミング方法はまだ学んでいない。

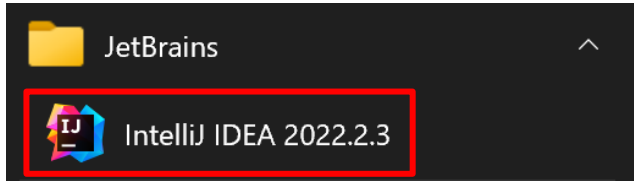
※「[IntelliJ IDEAの環境設定.pdf](#)」で学んだ。

Java基礎編で学ぶクラス設計・インスタンス化では、演習問題がある。その問題を解くために、この資料では、IntelliJでのプログラミング方法を学んでもらう。



Windowsも Macも、動作方法はほぼ同じはず

IntelliJの起動

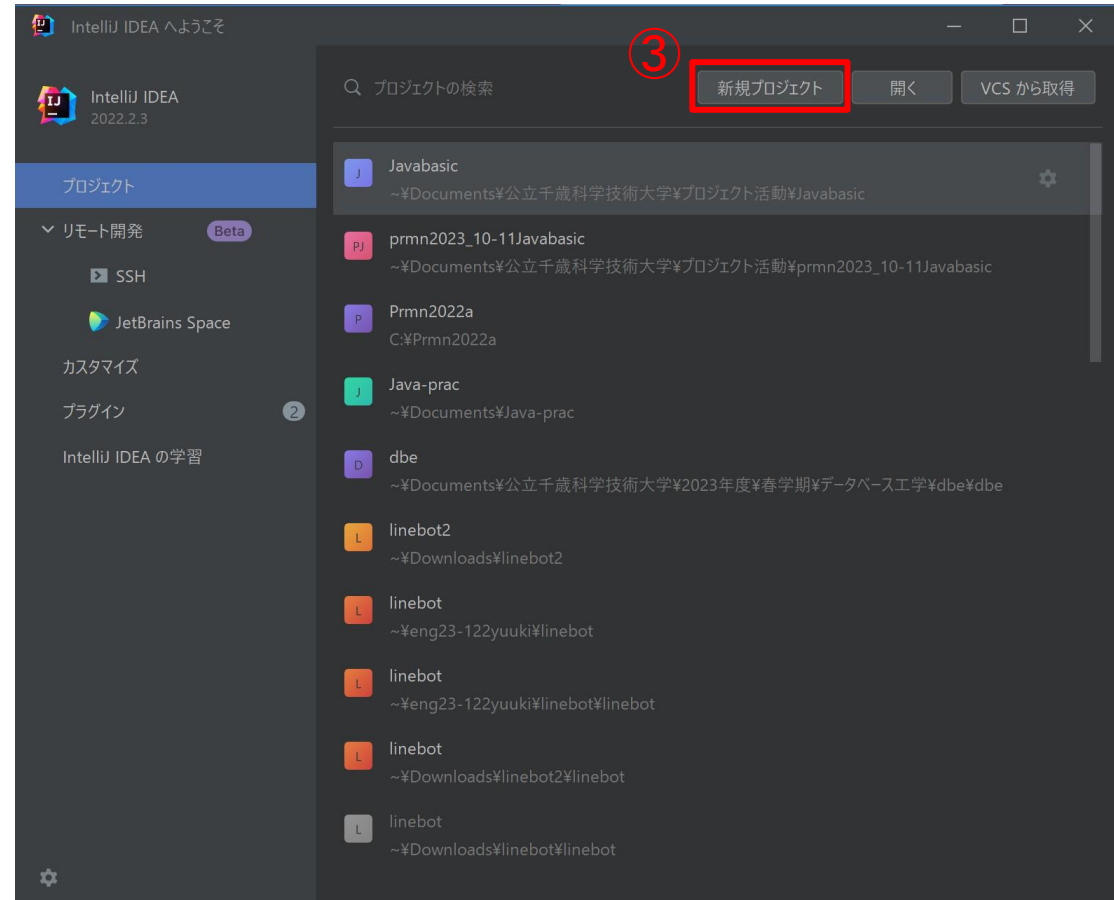


※画像はWindows。以降、Windowsでの操作方法を説明する

初めてIntelliJを使う場合の人↓

- ①各OSで「IntelliJ IDEA」を起動
- ②右図のような画面が出る。
- ③右図の「新規プロジェクト」をクリック

※IntelliJを利用したことがある人は、左上にある「ファイル」→「新規プロジェクト」をクリック。



IntelliJの準備

名前: Prmn2023_Java

場所:

プロジェクトは次に作成されます:

☐ Git リポジトリの作成

言語: Java Kotlin Groovy JavaScript +

ビルドシステム: IntelliJ Maven Gradle

JDK: corretto-17 Amazon Corretto version 17.0

☐ サンプルコードの追加

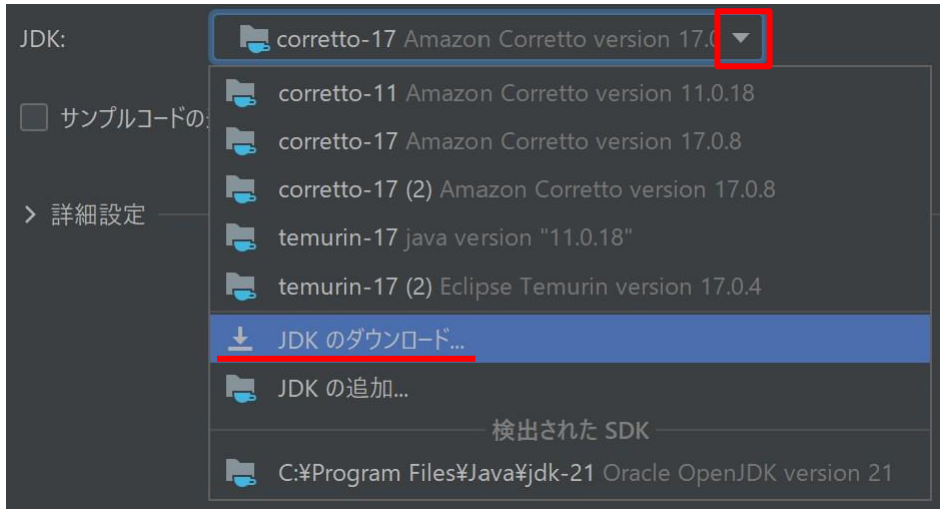
> 詳細設定

④左図のような画面になる。以下のように設定してください。

名前: 「Prmn2024_Java」
場所: 任意の場所
言語: Java
ビルドシステム: IntelliJ
JDK: 17以降のもの

次のページに、JDKのダウンロード方法が書いてあります。

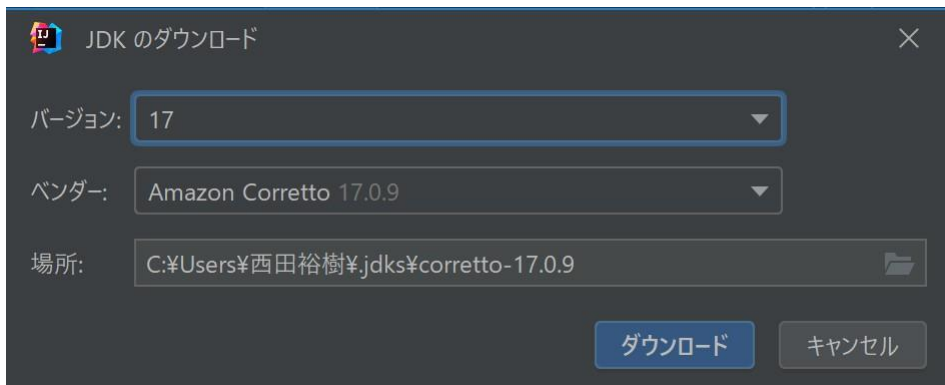
IntelliJの準備



▽をクリックし、「JDKのダウンロード...」をクリック。

以下のように設定してください。

バージョン： 17以降
ベンダー： お好きなもの
場所： 任意の場所



ダウンロード をクリックし、インストールが完了したら、前ページの画面に自動で戻る。

IntelliJの準備

名前: Prmn2023_Java

場所:
プロジェクトは次に作成されます:
☐ Git リポジトリの作成

言語: Java Kotlin Groovy JavaScript +

ビルドシステム: IntelliJ Maven Gradle

JDK: corretto-17 Amazon Corretto version 17.0

☐ サンプルコードの追加

> 詳細設定

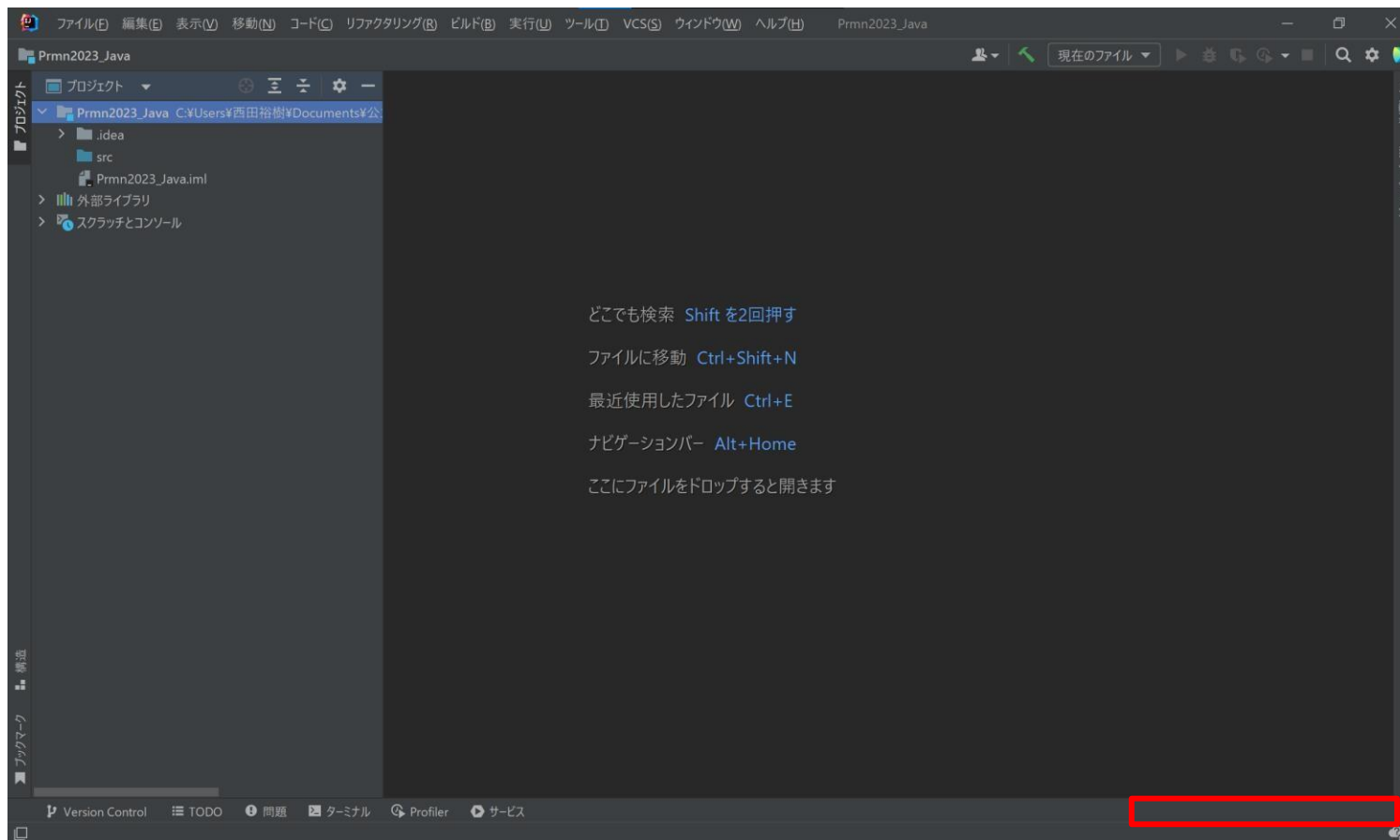
⑤設定が完了したら、下のほうにある

作成(C)

をクリックし、諸々のダウンロードが終わるまで待機

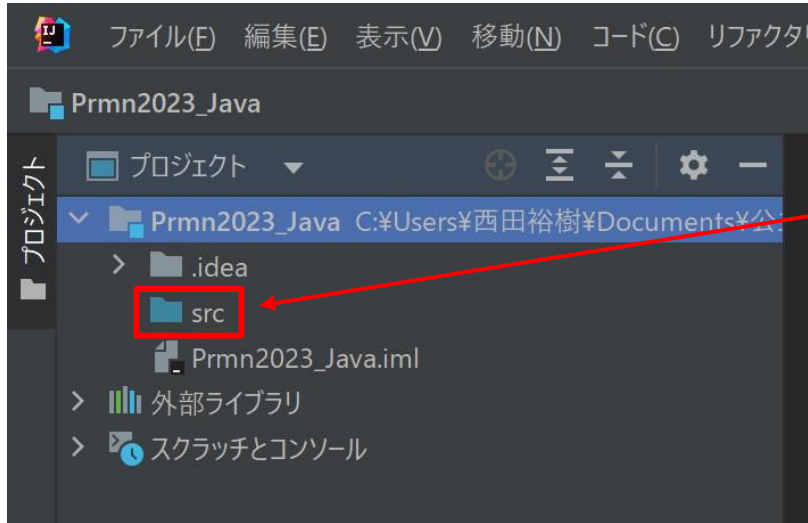
やっとプログラミングができるよ…！！

IntelliJでプログラム



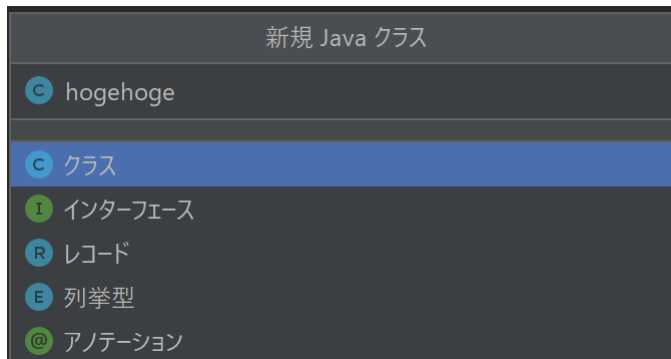
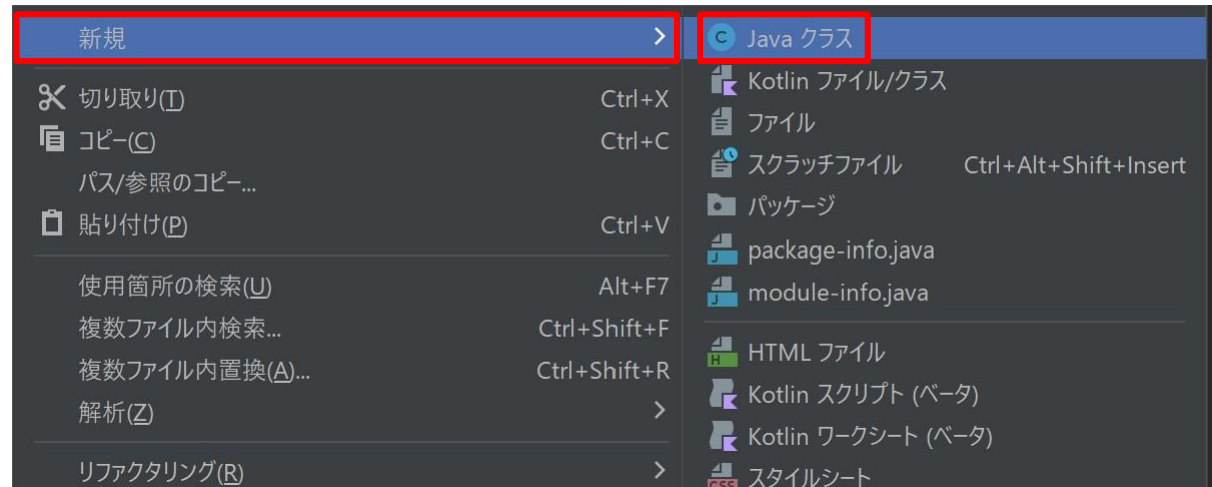
作成すると、このような画面が表示され、赤い枠らへんのインゲージが消えると、準備完了です。

IntelliJでプログラム



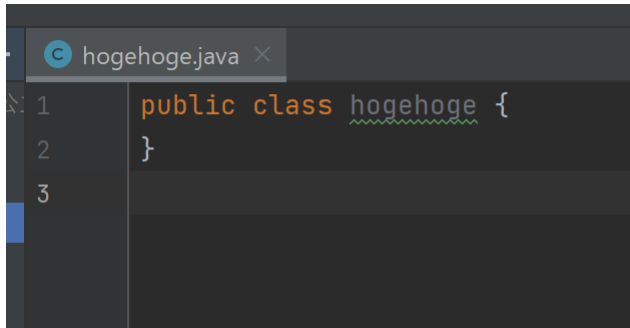
では、プログラミングをしていきましょう。

左側に「src」というフォルダがあると思う。基本的にこのフォルダにクラス等を作成していく。
「src」を右クリックし、「新規」→「Javaクラス」を選択



「クラス」を選択し、クラス名は「hogehoge」としましょう。

IntelliJでプログラム



hogeクラスが作成されました。どのようにプログラムを実行するのかを確認したいので、以下のソースコードをhogeクラスコピペまたは記述してください。

```
public class hoge{  
    public static void main(String[] args){  
  
        String greet = “hello World!!”;  
  
        System.out.println(greet);  
    }  
}
```

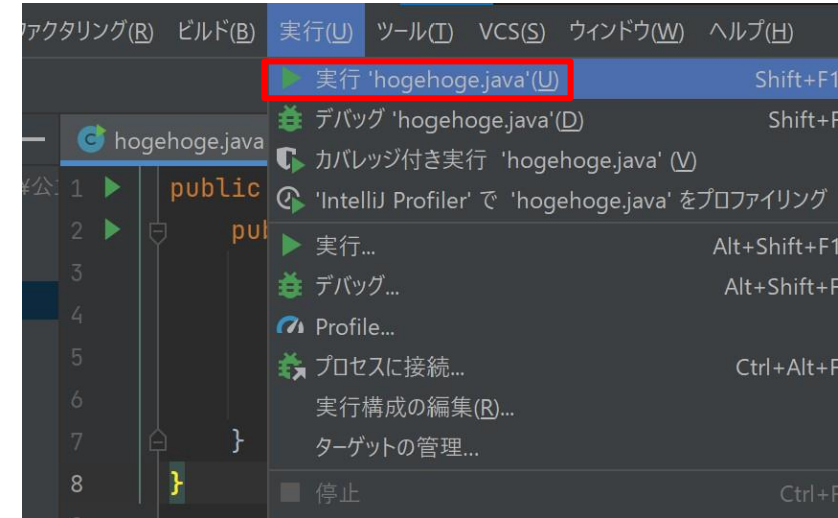
他のクラスを作りたい場合は、前ページと同じ方法で作ることができます。

※注意：このスライドのフォントの都合上、この文章をそのままコピペするとセミコロンが正しく認識されないことがあるので、コピペする場合はセミコロンだけ打ち直してください。

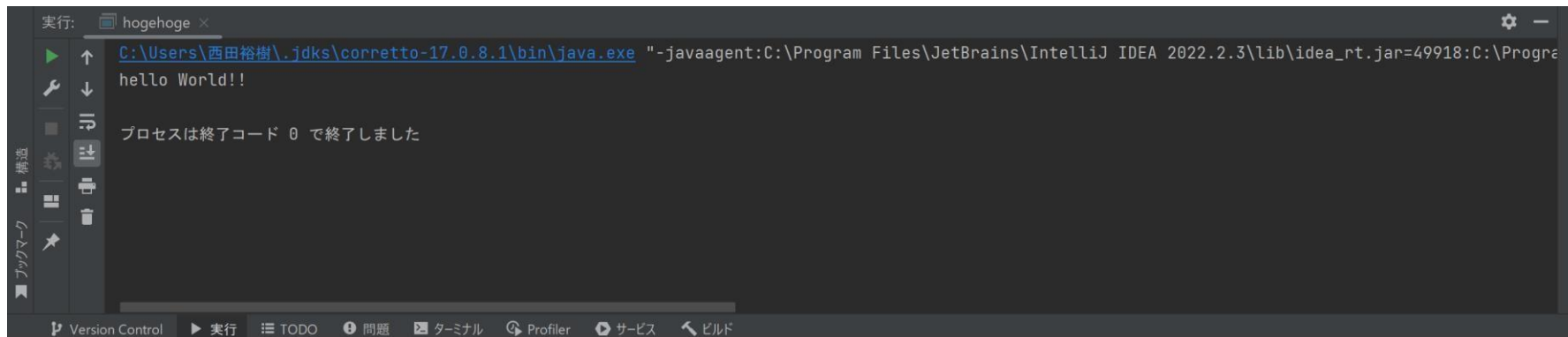
IntelliJでプログラム



or

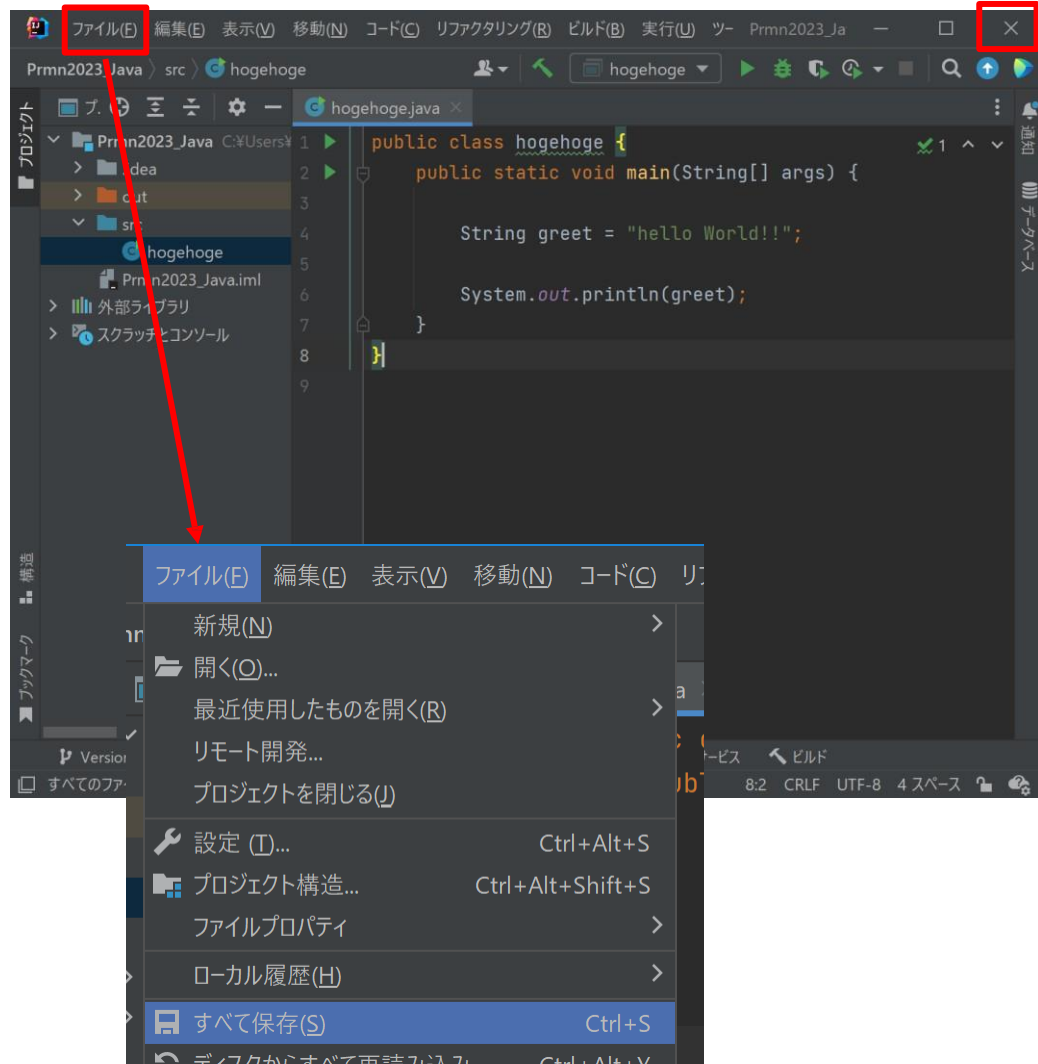


プログラムを実行する場合は、左図の「▶」から「▶実行」または右図の上のほうにある「実行(U)」の一番上の「▶実行」をクリックすることで、プログラムを実行することができます。



←実行結果

IntelliJの終了



右上の「×」をクリックすると、IntelliJが終了します。特に保存をしなくても自動的に保存されます。それでも不安な方は、左上の「ファイル(F)」→「すべて保存(S)」で保存することができます。

再度IntelliJを起動する場合は、最初でIntelliJを起動したようにすれば起動できます。起動すると、最後に編集した状態でファイルが開きます。(めっちゃ便利)

おわり

お疲れさまでした。